

## 学校評価趣意書

令和6年4月25日  
尾道市立栗原中学校

### 1 学校内外の状況

本校は、尾道市中心部の北側に位置し、千光寺公園などの観光地に近い。かつては全校生徒が1000人を超える時代もあったが、今年度は346人程度の中規模校となっている。生徒は、栗原小学校と栗原北小学校の出身者が大半を占める。また、尾道市において伝統ある中学校として、地域や保護者の学校に対する期待は高く、PTA活動も盛んである。

生徒は、中体連等の大会で活躍し、多くの賞を獲得するなど活気に満ちている。しかし、不登校生徒や支援を要する生徒が多く存在するなど課題は大きい。そのため、継続して広島県教育委員会から生徒指導サポート実践校の指定を受け、問題行動の未然防止や不登校対応の充実を図るため、県や市教育委員会の指導のもと、組織的な生徒指導の推進に取り組んでいる。

また、今年度は、「特別支援教育の考え方を生かした個別最適な学び推進プロジェクト校」の指定を受けており、学力向上に向けた授業改善に重点的に取り組んでいく。

学校としての各取組を組織的に実践していくために、チームハート（生徒指導部）が学習規律や学習環境を整え、チームキャリア（教育研究部）が授業改善に取り組み、チームカリマネ（教務部）が教育課程を整備し、「生徒が粘り強く学習に取り組む」ことができるよう教育環境の充実に取り組んでいく。

分掌では、教務主任、生徒指導主事、研究主任、学年主任には、意欲と機動力がある若手を配置し、スピード感をもって日々の業務に当たっている。毎年、新採が複数人採用されるなど教職員の若返りが急速に進んでいる中で、個々の教職員の特性を踏まえて適材適所に人材を配置し、計画的に人材育成を行っていく。子供たちの成長のため、教職員の教師力の向上のため、「チーム栗原」として学校が一丸となり取組を推進していく。

### 2 ミッション

主体性と規範意識を身に付け、心を育てる小中連携教育の推進

### 3 ビジョン

#### (1) めざす教職員像

- ・高い倫理観と豊かな人間性を備えた教職員
- ・生徒のよさに気づき、伸ばす教職員
- ・生徒に寄り添い、一緒に感動し、喜びあえる教職員
- ・謙虚さを持って常に自己研鑽に努める教職員

#### (2) 育てたい生徒像

- ・周りから応援される生徒
- ・自分自身が好きで、仲間を大切にし、人の痛みがわかる生徒
- ・栗原が好きで、愛着と誇りを持てる生徒
- ・夢や志を抱き、自ら学び、考え、判断し、主体的に行動できる生徒

#### (3) めざす学校像

- ・目標とされる学校
- ・挨拶、歓声、歌声が響き渡り、心が和む学校
- ・生徒が「行きたい」保護者が「行かせたい」教職員が「働きたい」と思う学校

### 4 重点課題

- (1) 学力向上…特別支援教育の考え方を生かした「個別最適な学び」の実現に向けた授業改善を行い、生徒の基礎基本の定着を図る。
- (2) 豊かな心の育成…積極的な生徒指導の推進、教育相談活動の推進、部活動や生徒会活動の充実を図ることで、生徒の自治的な風土を醸成し、自己指導力の育成を目指す。
- (3) 組織的・機能的な学校運営体制の確立…「チーム栗原」を合い言葉に、学年会と分掌会が縦横に連携し、情報を共有しながら、さらに機能的な組織づくりを目指す。